

外部環境の現実に向き合い どう切り開いていくのか

PPIHグループを取り巻く環境は大きく変化しています。日本は、少子高齢化などによる労働力不足、消費者の節約志向、Eコマースの台頭など、従来と異なる世界が広がっています。また、海外でも、保護主義の台頭による国家間の分断を深める動きや、気候変動や資源枯渇などに対する意識がますます高まっています。こうした現実のなかで、私たちがすべきことは何なのか。PPIHグループという存在が、未来永劫持続していくために必要な基盤とは何なのかを考える必要があります。

PPIHグループの輝かしい未来に向けて、スピードを上げて進化しなければならないときに来ています。

2060年の日本の人口

8,674万人
まで減少

2015年版厚生労働白書

65歳以上の人口

40%まで上昇

2015年版厚生労働白書

日本における
外国人労働者数

約146万人

厚生労働省「外国人雇用状況」(2018年10月)

グローバルメガトレンド

新興国の人口増加

新興国の経済成長

貧富の差の拡大

ダイバーシティの加速、
価値観の多様化

気候変動

資源枯渇

脱炭素化、
再生可能エネルギー
ニーズの高まり

AI、IT技術のさらなる進化

高齢化の進行

労働人口の減少

2020年の新興国の
経済成長率

4.7%

IMF「世界経済見通し」(2019年7月)

2030年のアジア新興国
の中位中間所得層以上の人口

34億人

内閣府「2030年展望と改革 タスクフォース報告書」

地球温暖化対策をしなければ、
2100年に世界の平均気温は

3.7°C上昇し、
**資産に与える
物理的リスク
が高まる**

IPCC AR5 WG1 SPM

「機会」を最大化し 「リスク」を軽減する

PPIHグループが持続的な成長を実現するためには、さまざまなグローバルメガトレンドを見据え、成長に向けた「機会」と「リスク」を見極めながらビジネスを進めていく必要があります。

今後の経営戦略を立てる際に重要なのは、当社グループが捉える成長機会を最大化し、リスクを軽減していくためには、どのような戦略を立てるべきなのか、という「未来からの逆算の視点」であると考えます。

当社グループの競争優位性を発揮し、果敢な挑戦の手を緩めず、リスクをビジネスチャンスと捉えて新しい価値を創造していきます。

主な成長機会

国内における需要の拡大
海外における需要の拡大
低炭素製品及びサービスの需要拡大
エネルギー源の多様化、
資源の効率化
技術革新を活用した
新サービスの創出
人財のダイバーシティによる
価値創造力の向上

主なリスク

諸外国の
政治・経済・社会状況の悪化
気候変動を原因とした
災害による事業停止
大企業病
(労働力不足、組織の硬直化)

PPIHグループの対応

国内における規模拡大

国内需要は、「どこで何をいくらで買うか」という選別消費が加速しているため、幅広い年齢層のお客さまに「地域一番店」としてご利用いただける店舗を提供していきます。さらに、リアル店舗だからこそ提供できるお買い物の「ワクワク・ドキドキ感」をさらに追求するため、IT技術を駆使した次世代型店舗の開発にも取り組んでいます。

▶ P.18 P.22

店舗の環境マネジメントシステムを強化

「持続可能な社会を構築するために企業活動を通して貢献する」という環境理念を掲げ、店舗や事務所が環境に与える影響を調べて改善することに努めています。2019年7月に「アビタ」「ピアゴ」全173店舗において、環境を保護し、環境パフォーマンスを向上させるための国際的なマネジメントシステム「ISO14001」の認証を取得しました。

▶ P.39